

中期経営方針

JSRグループは、2024年度に向けた中期経営方針に基づき、レジリエントな組織づくりや企業文化の改革を推進しています。

Vision

- 持続的 (Sustainable) 成長を目指し、すべてのステークホルダーに価値を創造する
- あらゆる環境変化に適応する強靱な (Resilient) 組織を作る

事業ポートフォリオ

デジタルソリューション (特に**半導体材料**)、**ライフサイエンス**がコア事業

事業目標

ROE

10%以上

コア営業利益

最高益 (2007年度) の更新

600億円以上 (デジタルソリューションおよびライフサイエンス)

組織体制

強靱な (Resilient) 経営基盤

イノベーション/デジタル化/ESGコミットメント/
従業員エンゲージメント

JSRグループは、2024年度に向けた中期経営方針において「中長期的なレジリエンス (強靱性) とサステナビリティ (持続可能性) を備えた事業構造・経営体制への転換」を最重要事項としています。そして、これまでに培ってきた技術によって社会課題を解決していくため、イノベーションとの親和性が高い半導体材料事業を中心としたデジタルソリューション事業、ライフサイエンス事業をコア事業として持続的な成長を実現し、2024年度に過去最高益である600億円の更新、ROE 10%以上、ROICの最大化を目指します。

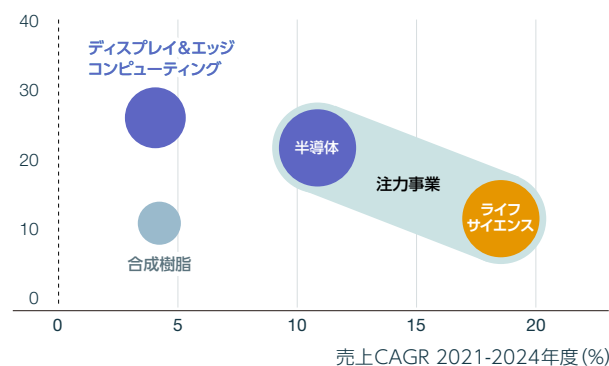
事業ポートフォリオ

選択と集中で効率的に推進

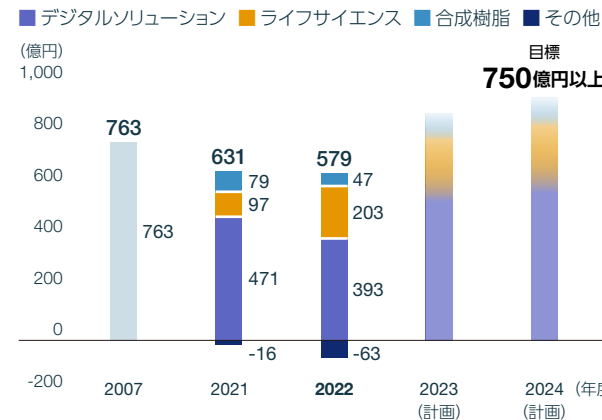
2024年度までの期間でROICを基準に各事業の資本コストを検証し、将来性のある事業に集中的にリソースを投入していきます。そして、中長期の安定成長が期待でき、当社グループの強みが持続的に発揮できる注力事業においては、デジタルソリューション事業で高いトップライン成長を実現して高利益率を維持し、ライフサイエンス事業ではトップラインを含め20%の成長を目指す計画です。また、2024年度のEBITDAは、750億円を目標としています。

2024年度に目指す事業ポートフォリオ

ROIC 2024年度 (%)



EBITDA

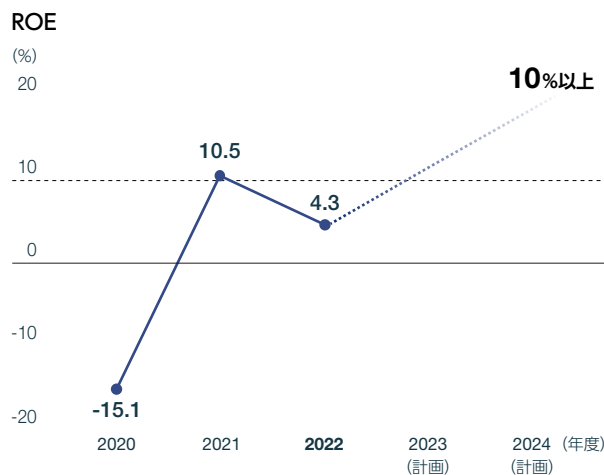


事業目標

利益水準を上げて企業価値向上を目指す

中期経営方針期間において、デジタルソリューション事業の半導体材料事業とライフサイエンス事業へ集中的にリソースを投入し、独自性のある価値創出を進めます。デジタルソリューション事業は、当社グループの強みである開発力をはじめとする総合的な技術力を活かし、先端材料をはじめとした幅広い製品を提供しています。ライフサイエンス事業でも、これまでに培ってきた高い技術力を基盤として、複雑なバイオ医薬品の開発を支援していきます。

これらの結果、2つの注力事業の売上収益を2020年度の2,000億円規模からCAGR10%を達成し、2024年度までに3,000億円規模まで拡大させ、コア営業利益は最高益を更新する600億円以上、コア営業利益率は2020



年度の約15%から2024年度に20%以上の達成を目指します。また、ROICを基準に事業ポートフォリオ管理を徹底し、ROEは10%以上を目標に資本生産性の向上に取り組みます。

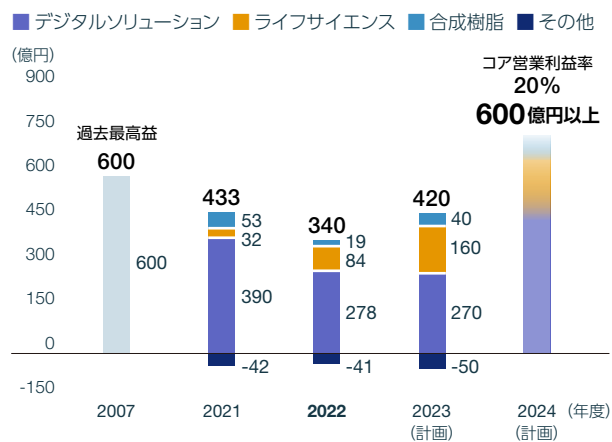
組織体制

時代の変化に対応できるレジリエントな経営基盤を構築

社会が多様化・複雑化して不確実性が高まる中で、さまざまな環境変化を機会に転換し、成長につなげるには、これまでに培ったJSRグループの文化や風土をいっそう強化し、変化に対応できるよう転換していくことが必要です。

当社グループでは、持続的な成長を実現していくために5つのファウンデーションを企業風土の基盤として定義

コア営業利益



しています。5ファウンデーションズの具体的なフレームワークは、全てのステークホルダーの価値向上に寄与する「サステナビリティ」、最先端のテクノロジー企業であり続けるためのイノベーションを促進する「イノベティブカルチャー」、グローバルな変化に対応するために意識・能力を高め、インフラを拡大する「グローバルイゼーション」、デジタル変革(DX)の潮流を取り込んだ業務の効率化を進化させる「デジタルイゼーション」、そして中期経営方針の目標を各部門の活動と紐づける仕組みが「オペレーショナルエクセレンス」です。

今後、これらの取り組みを通じてレジリエントな経営基盤を築き、持続的な企業価値の向上を目指します。

5ファウンデーションズ

